

仕上げ; 一般的混合方法; サブクラス C08B, C08C, C08F, C08G または C08H に含まれない後処理 (プラスチックの加工, 例. 成形 B29) [2]

注

(1) このサブクラスはポリマーの処理であって C08B から C08H に含まれない方法を包含する。[4]

(2) このサブクラスにおいては, ラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り, 最後の適切な箇所に分類する。[2]

(3) このサブクラスに分類するときは, 使用された物質が検索のために重要な情報を意味すると考えられる場合, サブクラス C08L に付加的に分類してもよい。[8]

ファセット分類記号

適用範囲 (3/00~11/28)

多糖類またはその誘導体

ゴムまたはその誘導体; ジエン系重合体

付加重合生成物

・ポリオレフィン

・ポリスチレン

・ポリ塩化ビニル

・フッ素樹脂

・ポリビニルアルコール; ポリビニルアセタール

・アクリル樹脂

重縮合または重付加生成物

・エポキシ樹脂

・ポリエステル

・ポリウレタンまたはポリ尿素

・ポリアミドまたはポリイミド

・シリコン樹脂

3/00 高分子物質の処理方法または混合方法[2]

3/02 ・溶液, 乳化または懸濁重合以外の方法による溶液, 分散液, ラテックスまたはゲルの製造[2]

A 分散化

B 分散安定化

C 分散液の変性〔粘度変化、粒径肥大化、感熱化、濃縮〕

D 分散液の凝集凝固

Z その他のもの

3/03 ・水性媒体中のもの[5]

3/05 ・固体ポリマーからのもの[5]

3/07 ・ポリマー溶液からのもの[5]

3/075 ・高分子ゲル[6]

3/09 ・有機液体中のもの[5]

3/11 ・固体ポリマーからのもの[5]

3/12 ・粉末化または粒状化[2]

A 粉碎、分解

Z その他のもの

101 ・噴霧粒状化

3/14 ・溶液からの沈殿によるもの[2]

3/16 ・分散液の凝集によるもの[2]

3/18 ・高分子化合物の可塑性(可塑剤 C08K) [2]

3/20 ・重合体と添加剤との混合, 例. 着色[2]

A 液状重合体と添加剤との混合

B 充てん剤の混合

C 着色剤の混合

D 硬化剤の混合

Z その他のもの

3/205 ・液相で存在中のもの[5]

3/21 ・ポリマーが液相で前混合されるもの[5]

3/215 ・また少くとも 1 個の添加剤が液相で前混合されるもの[5]

3/22 ・マスターバッチを使用するもの[2]

3/24 ・高分子物質の架橋, 例. 加硫, (機械的特色 B29C35/00; 架橋剤 C08K) [2]

A シラン化合物またはチタン化合物によつて変性を行うもの

Z その他のもの

3/26 ・ラテックスの架橋[2]

3/28 ・波動エネルギーまたは粒子線による処理[2]

5/00 高分子物質を含む成形品の製造(半透膜の製造 B01D67/00-B01D71/00) [2]

5/02 ・分散液, 例. ラテックス, から直接に成形品を製造する方法[2]

5/04 ・解繊されたまたは凝集した繊維状物質による高分子化合物の補強[2]

5/06 ・前処理した繊維状物質を使用するもの[2]

5/08 ・ガラス繊維[2]

5/10 ・重合体混合物で 사용되는添加剤に特徴のあるもの[2]

5/12 ・前もって形成された高分子物質と同種または他の固体物との接着, 例. 接着剤による金属, ガラス, との接着[2]

5/14 ・研摩性または摩擦性の物品または物質の製造[2]

5/16 ・摩擦性の減少された物品または物質の製造[2]

5/18 ・フィルムまたはシートの製造[2]

5/20 ・イオン交換樹脂の成形体の製造[2]

101 ・イオン交換繊維

102 ・陽イオン交換繊維

103 ・陰イオン交換繊維

5/22 ・フィルム, 膜または隔膜[2]

101 ・陽イオン交換膜

102 ・不均質なもの

103 ・均質なもの

104 ・陰イオン交換膜

105 ・不均質なもの

106 ・均質なもの

5/24 ・その場で重合しうるプレポリマーによる

7/00	物質の含浸, 例. プレプレグの製造[2] 高分子物質から製造された成形体の処理または被覆 (金属材料による被覆 C23C; 金属の電着 C25) [2]	7/056	・・親水性被覆を形成するもの[2020. 01]
A	化学的处理	7/06	・・高分子物質を含まない組成物を使用するもの[2]
B	・難燃・防火処理	A	導電性, 耐電防止処理
C	・導電処理・帯電防止処理	B	・透明導電性膜を有するもの
D	圧電・焦電フィルム	C	難燃・防火処理
Z	その他	D	防曇・防滴処理
301	・熱処理	Z	その他
302	・波動エネルギー又は粒子線による処理	7/12	・化学的変性[2]
303	・・放電処理	A	基材を特定したもの
304	・・紫外線処理	B	・ポリイミド
305	・・放射線処理	C	医療用
306	・・プラズマ処理	Z	その他
307	・・スパッタエッチング処理	7/14	・・酸, その塩または無水物を使用するもの[2]
7/02	・溶媒, 例. 膨潤剤, を使用するもの[2]	7/16	・・重合性化合物を使用するもの[2]
A	基材を特定したもの	7/18	・・・波動エネルギーまたは粒子線を使用するもの[2]
B	・ポリイミド	9/00	多孔性または海綿状の物品または物質にするための高分子物質の処理; その後処理 (多孔質または細胞質物品の製造のためのプラスチックあるいは可塑状態の物質の成形における機械的特徴 B29C) [2]
Z	その他	A	延伸多孔化
7/04	・被覆[2]	Z	その他
A	被覆目的が不特定又は多数	9/02	・高分子の製造または変性時に反応単量体または変性剤によって発生するガスを使用するもの[2]
B	・基材を特定したもの	9/04	・予め添加された発泡剤によって発生するガスを使用するもの[2]
C	・・FRP・FRTP	101	・・高分子物質に特徴のあるもの
H	印刷性改善を目的とするもの	102	・・・ペースト状で使用するもの
J	・基材を特定したもの	103	・・配分剤に特徴のあるもの
U	医療用	104	・・・発泡助剤
V	磁気記録媒体・光ディスク用	105	・・・・促進剤
Z	その他	106	・・・・遅延剤
7/043	・・被覆それ自体の接着性を向上するもの, 例. プライマーを形成するもの (ポリマー担体と接着剤との間のプライマーに特徴のある膜または箔の形状のもの C09J7/50) [2020. 01]	107	・・・・核剤
A	基材を特定したもの	108	・・・・粘度調整剤
B	写真・磁気材料用	9/06	・・化学的発泡剤によるもの[2]
Z	その他	9/08	・・・二酸化炭素を生ずるもの[2]
7/044	・・導電性被覆を形成するもの; 帯電防止性を持つ被覆を形成するもの[2020. 01]	9/10	・・・窒素を生じるもの[2]
7/046	・・耐摩耗性被覆を形成するもの; 表面硬化被覆を形成するもの[2020. 01]	9/12	・・物理的発泡剤によるもの[2]
A	被覆材を特定したもの	9/14	・・・有機性のもの[2]
B	・Si 含有系	注	
C	・メチロールメラミン系	・・・グループ 9/16 から 9/22 においては, 下記の用語は以下に示す意味で用いる:[8]	
Z	その他	注	
7/048	・・ガスバリア性被覆を形成するもの[2020. 01]	・・・—“発泡性”とは, 発泡中のもの, 前発泡したものまたは発泡したものも含む。[5]	
7/05	・・難燃性被覆または耐火性被覆を形成するもの[2020. 01]	9/16	・発泡性粒子の製造[2, 5]
7/052	・・ヒートシール性被覆を形成するもの[2020. 01]	9/18	・・発泡剤を重合体粒子に含浸させるもの[2]
7/054	・・防曇または防滴性被覆を形成するもの[2020. 01]	9/20	・・発泡剤の存在下に懸濁重合するもの[2]

9/22	・発泡性粒子の後処理;発泡生成物の成形 [2, 5]	11/20	・・・・炭化水素またはハロゲン化炭化水素を用いる処理によるもの [4]
9/224	・表面処理 [5]	11/22	・・・・酸素含有有機化合物を用いる処理によるもの [4]
9/228	・発泡生成物の成形 [5]	11/24	・・・・水酸基を有するもの [4]
9/232	・・・・発泡性粒子の焼結によるもの [5]	11/26	・・・・カルボン酸基, その無水物, またはエステルを有するもの [4]
9/236	・・・・結合剤を使用するもの [5]	11/28	・・・・窒素, いおうまたはりんを含有する有機化合物を用いる処理によるもの [4]
9/24	・粒子の表面溶融および結合による空隙の形成, 例. 焼結 (発泡性粒子の焼結 C08J9/232) [2, 5]	99/00	このサブクラスの他のグループに分類されない主題事項 [8]
9/26	・高分子組成物または物品から固相の除去, 例. 溶解 [2]		
101	・固相が無機化合物		
102	・固相が有機化合物		
9/28	・高分子組成物または物品から液相の除去, 例. 凝固物の乾燥 [2]		
101	・溶液の凝固によるもの		
102	・分散液の凝固によるもの		
9/30	・液状組成物またはプラスチックにガスを混合するもの, 例. 空気の吹込み [2]		
9/32	・マイクロバルーンを含む組成物からのもの, 例. シンタクチックフォーム [2]		
9/33	・発泡体片を塊状化するもの, 例. 廃発泡体 [5]		
9/34	・発泡高分子芯体およびそれより高密度の高分子表面層からなる物品の製造における化学的特徴 [2]		
9/35	・複合発泡体, すなわち, 不連続多孔性粒子または断片を含む高分子連続発泡体 [5]		
9/36	・後処理 (C08J9/22 が優先) [2, 5]		
9/38	・セル膜の破壊 [2]		
9/40	・含浸 [2]		
9/42	・・・・高分子化合物を使用するもの [2]		
11/00	廃物の回収または処理 (プラスチックの回収 B29B17/00; 廃重合体またはその解重合生成物の精製または再使用を包含する重合プロセス C08B, C08C, C08F, C08G, C08H) [4]		
11/02	・溶剤, 可塑剤または未反応単量体 [4]		
11/04	・重合体 [2]		
11/06	・・・・化学反応を伴わないもの [4]		
11/08	・・・・重合体成分に対する選択的溶剤を使用するもの [4]		
11/10	・・・・重合体の分子鎖または架橋を化学的に切断することによるもの, 例. 脱加硫 (原単量体への解重合 C07) [4]		
11/12	・・・・乾熱処理のみによるもの [4]		
11/14	・・・・蒸水処理のみによるもの (ガス, コークス, タールまたはこれらの類似物を製造するための炭素質物の分解乾留 C10B) [4]		
11/16	・・・・無機材料を用いる処理によるもの (C08J11/14 が優先) [4]		
11/18	・・・・有機材料を用いる処理によるもの [4]		